座間市 PRESS RELEASE プレスリリース

令和８年１０月３０日

事業、制度など

有機フッ素化合物（PFOS 及び PFOA）の地下水・表流水調査結果及び今後の対応について

このことについて、別紙の通り情報提供します。

問い合わせ先　くらし安全部　　生活安全課

ＴＥＬ０４６（２５２）８２１４　ＦＡＸ０４６（２５７）７７４３



座間市 総合政策部 秘書広報課 広報係　　〒252-8566　　神奈川県座間市緑ケ丘一丁目１番１号

電話　０４６（２５２）８３２１　ＦＡＸ　０４６（２５５）５０９０

令和８年１０月３０日
座間市発表資料

有機フッ素化合物（PFOS及びPFOA）の
地下水・表流水調査結果及び今後の対応について

令和３年度に神奈川県が実施した有機フッ素化合物（PFOS及びPFOA）の調査にて、市内の地下水で、環境省が定める暫定目標値を超過する結果となったことを受け、市では令和４年度から地下水・表流水の調査を実施しています。

令和８年８月に表流水の調査、９月に地下水の調査を実施した結果は次のとおりです。

１　ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)について

有機フッ素化合物の一つであるPFOS及びPFOAは、独特の性質（水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しない等）を持ち、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤等に用いられてきた化学物質です。しかし、環境中で分解されにくく、生物への蓄積性などもあることから、現在、国内外において製造、使用等が規制されています。このことから、環境省はPFOS及びPFOAを要監視項目に位置づけ、公共用水域及び地下水における指針値(暫定)を定めました。令和７年６月３０日に、指針値となっています。

２　調査内容及び結果（詳細は別紙参照）について

⑴地下水

市内の地下水における有機フッ素化合物の分布状況を把握するため、令和８年９月２５日（金）に市内６地点の地下水において調査を行った結果、１地点で指針値の超過がありました。１地点は井戸故障による欠測です。

⑵排水路

平和橋（鳩川）下流流入排水路における有機フッ素化合物の分布状況を把握するため、令和８年８月５日（水）に２地点で調査を行った結果、２地点で指針値の超過がありました。

※上記２地点は、昨年度に調査した地点と同一地点です。

３　今後の対応について

地下水の調査により指針値の超過が見られた地域においては、井戸水をそのまま飲むことは控えるよう助言を行っています。今後も引き続きモニタリングを行います。

別紙

（１）令和８年度（令和８年９月２５日採水）

有機フッ素化合物（ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ）地下水調査結果

採水地点	採水区分	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS 及び PFOA の合計値 (ng/L)
座間	井戸	27	5.1	32
新田宿	井戸	7.4	3.6	11
相模が丘	井戸	6.0	1.7	7.8
栗原	井戸	17	3.5	20
栗原	湧水	53	15	69
西栗原（※）	井戸	－	－	－

※西栗原は、井戸故障のため欠測。

（２）令和８年度（令和８年８月５日採水）

有機フッ素化合物（ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ）平和橋（鳩川）下流流入排水路調査結果

採水地点	採水区分	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS 及び PFOA の合計値 (ng/L)
座間	排水路	63	8.4	71
座間	排水路	100	8.9	110

※上段に行くに従い、下流域になります。

（３）その他

・有効桁数２桁で処理しているため、合計値は必ずしも「ＰＦＯＳ」及び「ＰＦＯＡ」の和と一致しません。

・地下水と公共用水域における指針値はＰＦＯＳ及びＰＦＯＡの合計値として 50ng/L とされています（人の健康の保護に関する要監視項目）。